

MS 194 T

STIHL



2 - 27 取扱説明書



目次

1	ごあいさつ.....	2
2	はじめに.....	2
3	概要.....	2
4	安全に関する重要事項.....	4
5	チェーンソーの使用準備.....	10
6	チェーンソーの組み立て.....	10
7	チェーンブレーキを掛ける/解除する.....	12
8	燃料の混合とチェーンソーへの給油.....	13
9	エンジンの始動と停止.....	14
10	チェーンソーの点検.....	16
11	チェーンソーの操作.....	17
12	作業後.....	19
13	運搬.....	19
14	保管.....	20
15	清掃.....	20
16	整備.....	22
17	修理.....	23
18	トラブルシューティング.....	23
19	技術仕様.....	25
20	バーとチェーンの組み合わせ.....	26
21	スペアパーツおよびアクセサリ.....	26
22	廃棄.....	26
23	EC 適合証明書.....	26
24	UKCA 適合宣言.....	27
25	アドレス.....	27

1 ごあいさつ

お客様各位

STIHL 製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。弊社では、お客様のご要望を満たす高品質の製品を開発し、製造しております。弊社の製品は、極端な条件下においても高い信頼性が発揮されるよう設計されております。

STIHL 社は上質なサービスでも定評があります。弊社販売店は、お客様にご満足いただける助言や商品説明だけでなく、広範なサービスサポートも提供しております。

STIHL 社は天然資源を持続可能かつ責任ある方法で利用することに尽力しており、この方針を明示しています。本取扱説明書は、製品の長きに渡る耐用年数において、お客様が STIHL 製品を安全かつ環境に優しい方法で使用するのに役立つよう考えられています。

弊社をご愛顧いただきまして有難うございます。今後とも STIHL 製品をご愛用いただきますようお願い申し上げます。

Dr. Nikolas Stihl

Dr. Nikolas Stihl

重要！初めて使用する前に取扱説明書をお読みください。取扱説明書は、必要なときに参照できるように安全な場所に保管してください。

2 はじめに

2.1 本書内の警告表示



警告

- 重傷または死亡の原因となるおそれのある危険を示しています。
 - ▶ 記載されている対策を講じると、重傷または死亡事故を防ぐことができます。

注記

- 物的損害の原因となるおそれのある危険を示しています。
 - ▶ 記載されている対策を講じると、物損事故を防ぐことができます。

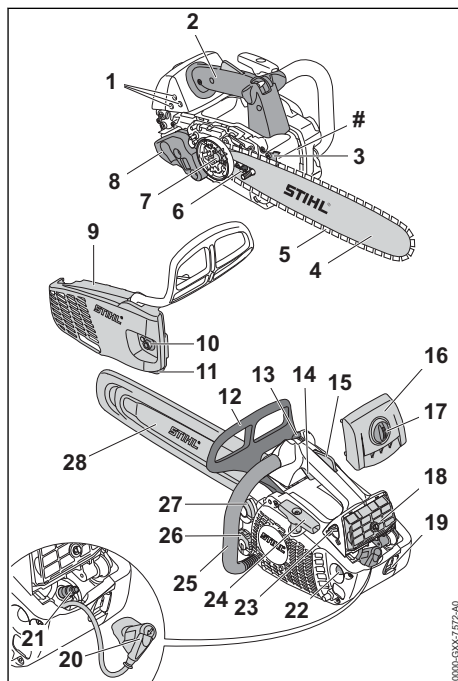
2.2 本文中の記号



この記号は、本取扱説明書の章を示します。

3 概要

3.1 チェンソー



- 1 **キャブレター調整スクリュー**
キャブレターの調整用。
- 2 **後ハンドル**
チェーンの操作、保持、制御、運搬用。
- 3 **バンパースパイク**
鋸断中にチェーンを木材に安定的に接触させるための歯付きストップ。
- 4 **ガイドバー**
ソーチェンを支え、導きます。
- 5 **ソーチェン**
木を切断します。
- 6 **テンショニングスクリュー**
チェンの張りを調整します。
- 7 **チェンスプロケット**
チェンを駆動させる歯車。
- 8 **マフラー**
チェーンが発する騒音を低減します。
- 9 **チェンスプロケットカバー**
チェンスプロケットを覆い、ガイドバーをチェーンに固定します。
- 10 **ナット**
チェンスプロケットカバーをチェーンに固定します。
- 11 **チェンキャッチャー**
バーから外れるか、破断したチェンが作業者に接触する危険を低減します。
- 12 **前ハンドガード**
チェンが作業者の左手に接触するのを防ぎ、チェンブレイキを作動させるレバーとして働き、特定のキックバック状況下で慣性力によってチェンブレイキを作動させます。
- 13 **マスターコントロールレバー**
エンジンの始動、運転、および停止用。
- 14 **スロットルレバー**
エンジン回転数を制御します。
- 15 **スロットルトリガーロックアウト**
スロットルトリガーのロックを解除します。
- 16 **シュラウド**
エンジン用カバー。
- 17 **シュラウドロック**
シュラウドをチェーンに固定します。
- 18 **エアフィルター**
エンジン吸気を濾過します。
- 19 **リング**
樹上作業中にチェーンを吊るします。
- 20 **スパークプラグターミナル**
イグニッションリードをスパークプラグに接続します。

- 21 **スパークプラグ**
エンジン内の混合気に点火します。
- 22 **手動燃料ポンプ**
エンジンを始動しやすくします。
- 23 **チョークレバー**
エンジンを始動するために混合気を濃くします。
- 24 **スターターグリップ**
エンジンのクランキング用。
- 25 **ハンドルバー**
チェーンの保持と制御用。
- 26 **オイルタンクキャップ**
オイルタンクの蓋。
- 27 **燃料タンクキャップ**
燃料タンクの蓋。
- 28 **チェンガード**
ユーザーがソーチェンに接触しないよう保護します。

機械番号

3.2 記号

チェーンに表示されている記号の意味：



この記号は、燃料タンクを示しています。



この記号は、チェンオイルタンクを示しています。



チェンブレイキが掛かる方向と解除される方向を示しています。



この記号は、チェンの回転方向を示しています。



この方向に回すと、チェンの張りが増します。



この記号は、手動燃料ポンプを示しています。



マスターコントロールレバーをこの方向に動かすと、エンジンが停止します。



マスターコントロールレバーをこの位置に動かすと、エンジンが停止します。



エンジンは、マスターコントロールレバーがこの位置のときに作動します。



エンジンは、マスターコントロールレバーがこの位置のときに始動します。



エンジンは、チョークレバーがこの位置のときに始動準備が整います。



エンジンは、チョークレバーがこの位置のときに始動します。



製品が発する騒音を比較できるように、指令 2000/14/EC に準拠して決定された dB(A) 単位の音響出力レベル保証値。

4 安全に関する重要事項

4.1 警告記号

チェンソー上の警告標示の意味：



安全上の注意事項を遵守し、必要な予防措置を講じてください。



製品をお使いになる際は、取扱説明書をよくお読みいただき、ご理解ください。また本書は必ず保管してください。



保護メガネ、イヤープロテクター、ヘルメットを着用してください。



切断保護機能付きの長ズボンを着用し、両腕に切断防止プロテクターを使用してください。



チェンソーを両手でしっかり保持します。



キックバックに関する安全通知を遵守し、必要な予防措置を講じてください。



樹木作業用チェンソーの使用訓練を受けた使用者だけがこのチェンソーを使用できます。

4.2 正しい使用方法

樹木作業用チェンソー STIHL MS 194 T は、樹木の手入れや樹冠部の鋸断を行うために使用します。

このチェンソーを地面での作業に使用することは禁じられています。

アイレットは、過負荷防止の付いたチェンソーストラップを固定し、チェンソーをベルトやロープに掛けて、木の上に運ぶために使用します。

▲ 警告

- チェンソーを正しく使用しないと、人員が重傷または致命傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
 - ▶ チェンソーは、この取扱説明書の記載通りに使用してください。

4.3 作業者

▲ 警告

- 樹木治療用チェンソーを使用した樹木のお手入れや整備に関する訓練を受けていない使用者は、チェンソーの危険の認識や評価ができま

せん。使用者または他の人員が重傷または致命傷を負うおそれがあります。



▶ 製品をお使いになる際は、取扱説明書をよくお読みいただき、ご理解ください。また本書は必ず保管してください。



▶ 樹木作業用チェンソーの使用訓練を受けた使用者だけがこのチェンソーを使用できます。

- ▶ このチェンソーを譲渡する場合：必ず本取扱説明書を一緒に手渡してください。
- ▶ 使用者が以下の必要条件を満たしていることを確認してください：
 - － 使用者は十分な休息をとっている。
 - － チェンソーを使用するために適切な身体的および精神的状態にある。
 - － 使用者はチェンソーの使用に伴う危険を認識し、評価することができる。
 - － 使用者は法定年齢に達しているが、国の規則や規制に従った監督下での職業訓練を受けていなければなりません。
 - － 使用者は、初めてチェンソーを使用する前に、STIHL サービス店、またはその他の経験豊富な使用者から指導を受けている。
 - － 使用者はアルコールまたは薬物の影響を受けていてはなりません。
- ▶ ご不明な点があれば：STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
- チェンソーのイグニッションシステムは、電磁界を発生します。その電磁界がペースメーカーに干渉する場合があります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 使用者がペースメーカーを着用している場合：ペースメーカーが影響を受けないことを確認してください。

4.4 衣服と装備

▲ 警告

- 長髪は、作業中にチェンソーに引き込まれるおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 長髪は結び、肩よりも高い位置でまとめてください。
- 作業中は、物体が高速で飛散することがあります。それにより負傷するおそれがあります。



▶ 確実にフィットする保護メガネを着用してください。欧州基準 EN 166 または日本の基準に従って試験され、ラベルが付けられている適切な保護メガネが販売されています。

- ▶ STIHL 社は、フェイスマスクの着用をお勧めしています。
- ▶ 身体に合った長袖の上着を着用してください。

- 操作中は騒音が発生します。騒音は聴力障害の原因になるおそれがあります。



- ▶ イヤープロテクターを着用してください。

- 落下物で頭部を負傷するおそれがあります。



- ▶ 作業中に物が落下する危険が高いときは、ヘルメットを着用してください。

- 作業中は、粉塵が巻き上げられることがあります：巻き上げられた粉塵は気道を傷付け、アレルギー反応を引き起こすおそれがあります。

- ▶ 粉塵が巻き上げられたり、周囲を漂ったりしている場合は、防塵マスクを着用してください。

- 不適切な衣服は木々、茂み、またはチェーンソーに絡まるおそれがあります。適切な衣服を着用しないと、重傷を負うおそれがあります。

- ▶ 体にぴったりフィットする衣服を着用してください。

- ▶ スカーフや装身具は外してください。

- 作業中、使用者は回転するソーチェンに接触することがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。



- ▶ 切断保護機能付きの長ズボンを着用し、両腕に切断防止プロテクターを使用してください。

- 作業中、使用者は木材で負傷するおそれがあります。清掃中または整備中にソーチェンに接触するおそれがあります。それにより負傷するおそれがあります。

- ▶ 耐切創手袋を着用してください。

- 不適切な履物を履くと、滑るおそれがあります。回転するソーチェンに接触すると、切り傷を負うおそれがあります。それにより負傷するおそれがあります。

- ▶ 切断保護機能付きのチェーンソーブーツを着用してください。

- 木に登って作業を行っている間は、作業者が地面に落下するおそれがあります。それにより重傷または致命傷を負うおそれがあります。

- ▶ 転落防止器具を使用してください。

4.5 作業エリアおよび周辺環境

▲ 警告

- 見物人、子供、動物は、チェーンソーまたは飛散物の危険を認識していません。無知な見物人、子供、動物は重傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。

- ▶ 作業エリアに見物人、子供、動物を近づけないでください。

- ▶ チェンソーを無人のまま放置しないでください。

- ▶ 子供がチェンソーで遊ばないように注意してください。

- エンジン作動中はマフラーから高温の排気ガスが排出されます。高温の排気ガスによって可燃物が引火し、火災が生じるおそれがあります。

- ▶ 排気ガスは可燃物から十分に離してください。

4.6 安全に関する条件

4.6.1 チェンソー

チェンソーは、以下の条件が満たされている場合に安全な状態となります：

- チェンソーが損傷していない。
- チェンソーから燃料が漏れていない。
- 燃料タンクキャップとオイルタンクキャップが密閉されている。
- チェンソーが清潔である。
- アイレットが損傷していない。
- チェンキヤッチャーが装着されており、損傷していない。
- チェンブレイキが正常に機能する。
- 操作部が正常に機能し、改造されていない。
- チェンの潤滑が正常に行われている。
- チェンスプロケットの摩耗の深さが 0.5 mm 未満。
- 本取扱説明書で指定されているガイドバーとソーチェンの組み合わせが装着されている。
- ガイドバーとソーチェンが適切に装着されている。
- ソーチェンの張り具合が適切である。
- 本チェーンソー用の STIHL 純正アクセサリが装着されている。
- アクセサリが適切に装着されている。

▲ 警告

- 安全な状態ではない場合、部品が正常に機能しなくなったり、安全装置が作動しなくなったり、燃料が漏れたりする可能性があります。重傷または致命傷を負う可能性があります。

- ▶ チェンソーは必ず損傷のない状態で使用してください。

- ▶ チェンソーから燃料が漏れた場合：チェンソーでの作業を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。

- ▶ 燃料タンクキャップとオイルタンクキャップを開けてください。

- ▶ チェンソーが汚れた場合：チェンソーを掃除してください。

- ▶ 損傷のないアイレットの付いたチェーンソーを使用してください。

- ▶ チェンキヤッチャーを装着し、破損していない状態で作業してください。

- ▶ チェンソーを改造しないでください。例外：本取扱説明書で指定されているガイドバーとソーチェンの組み合わせの装着。
- ▶ 操作部が機能しない場合：チェンソーを使用しないでください。
- ▶ 本チェンソー用の STIHL 純正アクセサリを装着してください。
- ▶ ガイドバーとソーチェンは、本取扱説明書に記載されている通りに装着してください。
- ▶ アクセサリは、本取扱説明書またはアクセサリに付属する取扱説明書に記載されている通りに装着してください。
- ▶ チェンソーの開口部に物を差し込まないでください。
- ▶ 摩耗や損傷のあるラベルは交換してください。
- ▶ 不明な点がある場合：STIHL サービス店までご連絡ください。

4.6.2 ガイドバー

ガイドバーは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- － ガイドバーが損傷していない。
- － ガイドバーが変形していない。
- － 溝の最小深さが維持されている。☐ 19.3
- － バーレールからバリが取り除かれている。
- － バーの溝が狭められたり、広がったりしていない。

▲ 警告

- ガイドバーが安全な状態にないときは、ソーチェンは適切に支持されず、正常に導かれなくなります。回転するソーチェンがガイドバーから飛び出すおそれがあります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
- ▶ ガイドバーは必ず損傷のない状態で使用してください。
- ▶ 溝の深さが最小深さ以下の場合：新品ガイドバーを取り付けてください。
- ▶ 毎週、ガイドバーからバリを取り除いてください。
- ▶ ご不明な点があれば：最寄りの STIHL サービス店にご連絡ください。

4.6.3 ソーチェン

ソーチェンは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- － チェンが損傷していない。
- － チェンが適切に目立てされている。
- － カッターのサービスマークがまだ見えている。

▲ 警告

- 部品が安全要件を満たしていない場合は、正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。

るおそれがあります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。

- ▶ ソーチェンは必ず損傷のない状態で使用してください。
- ▶ チェンを適切に目立てしてください。
- ▶ ご不明な点があれば：STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

4.7 混合燃料と給油

▲ 警告

- 本チェンソーにはガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの混合燃料が必要です。混合燃料とガソリンは、可燃性が極めて高い液体です。混合燃料またはガソリンが裸火や高温の物体に触れると、火災や爆発が生じるおそれがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
- ▶ 混合燃料とガソリンは、熱源や炎から保護してください。
- ▶ 混合燃料やガソリンをこぼさないでください。
- ▶ 燃料をこぼした場合は、布で拭き取り、チェンソーの全部品が乾くまではエンジンを始動しないでください。
- ▶ 喫煙しないでください。
- ▶ 火気の近くでは給油しないでください。
- ▶ 必ずエンジンを切り、冷ましてから、燃料を給油してください。
- ▶ 給油場所から 3 m 以上離れた場所でエンジンを始動します。屋外に限ります。
- 燃料/ガソリンの気化ガスには毒性があります。
- ▶ 燃料/ガソリンの気化ガスは吸い込まないでください。
- ▶ 換気の良い場所で給油してください。
- チェンソーは、使用中や気温が非常に高い環境下では高温になります。燃料の種類、標高、周囲温度、チェンソーの温度によっては、燃料が膨張してタンクの内圧が高まる場合があります。燃料タンクキャップを開けると、霧状の燃料が吹き出し、引火するおそれがあります。使用者が重傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
- ▶ チェンソーを冷ましてから燃料タンクキャップを開けてください。
- ▶ 燃料タンクキャップは一度の操作で完全に開けるのではなく、ゆっくりと開けてください。
- 燃料やガソリンが付着した衣服は、引火しやすくなります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
- ▶ 衣服に燃料またはガソリンが付着したときは：着替えてください。
- 混合燃料、ガソリン、および 2 ストロークエンジンオイルは、環境に有害です。

- ▶ 燃料、ガソリン、または 2 ストロークエンジンオイルは、こぼさないでください。
- ▶ 混合燃料、ガソリン、および 2 ストロークエンジンオイルは、地域の規制と環境要件に従って処分してください。
- 皮膚に付着するか、目に入ると、混合燃料、ガソリン、または 2 ストロークエンジンオイルは炎症を引き起こすことがあります。
 - ▶ 混合燃料、ガソリン、および 2 ストロークエンジンオイルには触れないでください。
 - ▶ 皮膚に付着したときは、大量の水と石鹸で付着した部分を洗浄してください。
 - ▶ 目に入った場合、大量の水で 15 分以上洗眼し、医師の診察を受けてください。
- チェンソーのイグニッションシステムは火花を発生します。引火や爆発が起きやすい環境下では、エンジン外部の火花によって火災や爆発が生じるおそれがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ スパークプラグは、本取扱説明書に従って使用してください。
 - ▶ スパークプラグを差し込み、確実に締め付けます。
 - ▶ スパークプラグターミナルを接続し、確実に押し込みます。
- 不適切なガソリンや不適切な 2 ストロークエンジンオイルから成る混合燃料を使用するか、ガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの混合比率が不適切な混合燃料を使用すると、チェンソーが損傷するおそれがあります。
 - ▶ 燃料は、本取扱説明書に従って混合してください。
- ガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの混合燃料は、長期にわたって保管すると分離するが、劣化することがあります。分離したり、劣化したりした混合燃料を使用すると、チェンソーが損傷するおそれがあります。
 - ▶ チェンソーに給油する前に、燃料を十分に混合してください。
 - ▶ 混合してから 30 日以内のガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの混合燃料を使用してください (STIHL MotoMix の場合は、5 年以内に使用してください)。
- 使用者はエンジンを正しく始動しないと、チェーンソーの制御を失う可能性があります。使用者が重傷を負う可能性があります。
 - ▶ この取扱説明書に記載されている通りにエンジンを始動してください。
 - ▶ ソーチェーンが地面や物に触れた場合：エンジンを始動しないでください。
- 特定の状況下では、使用者が作業に集中できなくなる場合があります。使用者がチェーンソーの制御を失い、つまづいたり転倒したりして重傷を負う可能性があります。
 - ▶ 冷静かつ思慮深く作業してください。
 - ▶ 明るさや視界が悪い場合：チェーンソーを使って作業しないようにしてください。
 - ▶ チェンソーは一人で操作してください。
 - ▶ 肩の高さより上にあるものを切断しないでください。
 - ▶ 障害物に注意してください。
 - ▶ 疲労を感じた場合：作業を中断して休憩してください。
- 木の上で作業している場合は、チェンソーが落下することがあります。それにより、重傷を負ったり物的損害につながったりする可能性があります。
 - ▶ チェンソーストラップをアイレットにかけてチェンソーを固定します。チェンソーストラップには、過負荷防止が付いていなければなりません。適切なアクセサリは専門店でお求めいただけます。
- エンジン運転中は排気ガスが出ます。排気ガスは有毒であり、吸い込むと命にかかわる危険があります。
 - ▶ 排気ガスを吸い込まないようにしてください。
 - ▶ チェンソーでの作業は、換気の良い場所で行ってください。
 - ▶ 吐き気、頭痛、視覚障害、聴覚障害、めまいが起きた場合：作業を中止し、医師の診察を受けてください。
- エンジン運転中使用者がイヤープロテクター（聴力保護具）を着している場合、使用者は騒音を十分に知覚したり、判断したりすることができません。
 - ▶ 冷静かつ思慮深く作業してください。
- チェンソーで作業している時に、マスターコントロールレバーが **I** の位置にある場合、使用者はチェンソーの作業を制御することはできません。使用者が重傷を負う可能性があります。
 - ▶ 作業する時は、マスターコントロールレバーが **I** の位置にあることを必ず確認してください。
 - ▶ この取扱説明書に記載されている通りにエンジンを始動してください。

4.8 操作

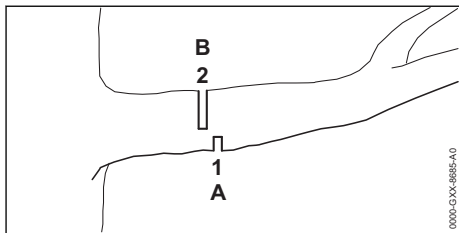
4.8.1 鋸断

▲ 警告

- 作業エリア外の声が届く範囲に別の作業者がいなければ、緊急時に救助することはできません。
 - ▶ 作業エリア外の声の届く範囲に作業員がいることを確認してください。

- チェンブレイキを掛けたまま加速すると、チェンブレイキが損傷することがあります。
 - ▶ 鋸断の前にチェンブレイキを解除してください。
- 回転中のソーチェンは、使用者を傷つけてしまう可能性があります。使用者が重傷を負う可能性があります。
 - ▶ 回転中のソーチェンには触れないでください。
 - ▶ ソーチェンが障害物で動かなくなった場合：エンジンを停止し、チェンブレイキを掛けてください。まずこれを行ってから、障害物を取り除きます。
- 回転中のソーチェンは温まって膨張します。ソーチェンの潤滑や張り具合が十分でないと、ソーチェンがガイドバーから外れて飛び出したり破断したりする可能性があります。それにより、重傷を負ったり物的損害につながったりする可能性があります。
 - ▶ ソーチェン粘着オイルを使用してください。
 - ▶ 作業中はオイルタンクの液面を定期的に点検してください。ソーチェン粘着オイルを使い切る前に：ソーチェン粘着オイルを給油してください。
 - ▶ 作業中はソーチェンの張り具合を定期的に点検してください。ソーチェンの張り具合が弱すぎる場合：ソーチェンを張ってください。
- 作業中にチェンソーの挙動が変化したり異常を感じたりした場合、チェンソーが安全な状態ではなくなっている可能性があります。それにより、重傷を負ったり物的損害につながったりする可能性があります。
 - ▶ 作業を終了し、STIHL サービス店までご連絡ください。
- 作業中は、チェンソーが振動することがあります。
 - ▶ 手袋を着用してください。
 - ▶ 作業を中断して休憩してください。
 - ▶ 血行障害の兆候が現れた場合：医師の診察を受けてください。
- 回転中のソーチェンが硬いものに当たると、火花が出ることがあります。可燃物がある環境では、火花が火災の原因となることがあります。人員が重傷または致命傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
 - ▶ 可燃物がある環境では作業しないでください。
- スロットルトリガーを放してもソーチェンは短時間動き続けます。動作中のソーチェンは、人を傷つけてしまう可能性があります。重傷を負う可能性があります。
 - ▶ ソーチェンが止まるまでお待ちください。

▲ 警告



- 張力がかかっている木を切断する場合、ガイドバーが挟まって動かなくなる可能性があります。使用者がチェンソーを制御できなくなり、重傷を負う可能性があります。
 - ▶ まず圧縮側 (A) に負荷軽減カット (1) を入れた後、張力側 (B) で幹の方向にずらした位置を玉切り (2) します。

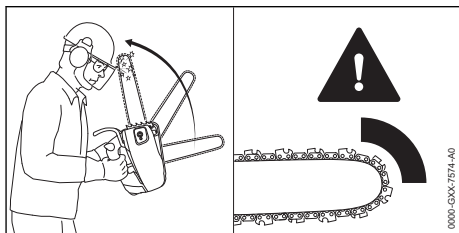
4.8.2 伐倒

▲ 警告

- 経験のない使用者は、伐倒の危険の認識や評価ができません。それにより重傷または致命傷や物的損害につながるおそれがあります。
 - ▶ ご不明な点があれば：伐倒作業は一人で行わないでください。
- 伐倒作業中に樹木の一部や枝が見物人や物の上に落下することがあります。それにより重傷または致命傷や物的損害につながるおそれがあります。
 - ▶ 樹木を狙い通りの場所に倒すために伐倒方向を決めます。
 - ▶ 見物人、子供、動物は作業エリアから樹高の2.5倍の範囲内に入らせないでください。

4.9 反発力

4.9.1 キックバック

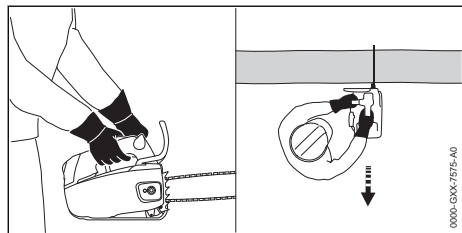


キックバックは、以下の理由で生じることがあります：

- ガイドバー先端上部 1/4 の部分で回転するソーチェンが硬い物体に触れ、急停止した。
- 回転するソーチェンがバー先端部で挟まった。

チェンブレイキでキックバックの発生を防ぐことはできません。

▲ 警告



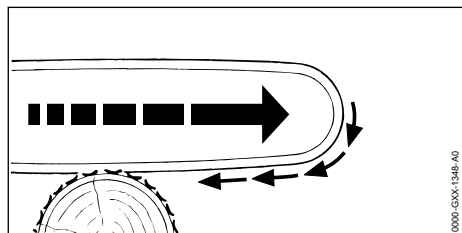
- キックバックが生じると、チェンソーが作業者の方向に跳ね上がることがあります。ハンドルの設計が特別なため（ハンドルの間隔が狭いため）、チェンソーの制御を失い、重傷または致命傷さえも負うことがあります。



- ▶ チェンソーを両手でしっかり保持します。

- ▶ チェンソーを両手でしっかり保持します。
- ▶ 体を常にカッティングアタッチメントの面から離してください。
- ▶ 本取扱説明書に記載されている推奨作業方法に従ってください。
- ▶ バーの先端上部 1/4 部分を使用しないでください。
- ▶ 必ず適切に目立てをし、張り具合を調整をしたソーチェンで鋸断してください。
- ▶ キックバック低減ソーチェンを使用してください。
- ▶ 先端部の径が小さいガイドバーを使用してください。
- ▶ 常にチェンを最高速で作動させて鋸断してください。

4.9.2 プルイン



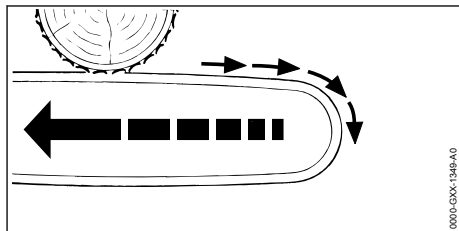
バーの下部を切断に使用すると、ソーが作業者から遠ざかる方向に引かれます。

▲ 警告

- 回転するチェンが硬い物体に当たったり、急に挟まれたりすると、チェンソーが作業者から遠ざかる方向に唐突に引っ張られることがあります。チェンソーの制御を失い、重傷または致命傷を負うおそれがあります。

- ▶ チェンソーを両手でしっかり保持します。
- ▶ チェンソーは取扱説明書に従って操作してください。
- ▶ ガイドバーは切り口の中でねじらないでください。
- ▶ バンパースパイクを適切にかみ合わせます。
- ▶ 常にチェンを最高速で作動させて切断してください。

4.9.3 プッシュバック



バーの上部を切断に使用すると、ソーが作業者の方向に押し戻されます。

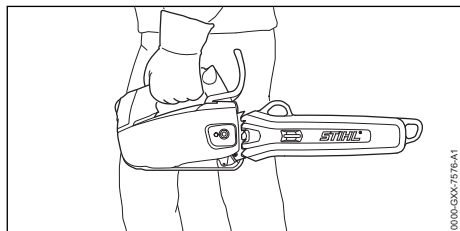
▲ 警告

- 回転するチェンが硬い物体に当たったり、急に挟まれたりすると、チェンソーが作業者の方に唐突に押し戻されることがあります。チェンソーの制御を失い、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
- ▶ チェンソーを両手でしっかり保持します。
- ▶ チェンソーは取扱説明書に従って操作してください。
- ▶ ガイドバーは切り口の中でねじらないでください。
- ▶ 常にチェンを最高速で作動させて切断してください。

4.10 輸送

▲ 警告

- チェンソーは運搬中に倒れたり、ずれたりするおそれがあります。それにより重傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
- ▶ エンジンを切ります。
- ▶ チェンブレーキを掛けます。
- ▶ ガイドバーを完全に覆うようにチェンガードを取り付けます。
- ▶ 転倒したり、ずれたりしないよう、固定ストラップ、ベルトまたはネットでチェンソーを固定します。



- しばらく使用すると、マフラーとエンジンが高温になる可能性があります。火傷を負う危険性があります。

- ▶ チェンソーは、左手でトップハンドルを持ち、ガイドバーを後ろに向けて運搬してください。

4.11 保管

▲ 警告

- 子どもはチェンソーの危険を認識/認知できず、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ エンジンを切ります。
 - ▶ チェンブレイキを掛けます。
 - ▶ ガイドバーを完全に覆うようにチェンガードを取り付けます。
 - ▶ チェンソーは子どもの手の届かないところに保管してください。
- 湿気によってチェンソーの電気接点や金属製部品が腐食することがあります。それによりチェンソーが損傷することがあります。
 - ▶ チェンソーは、清潔な乾いた状態で保管してください。

4.12 清掃、整備、修理

▲ 警告

- 清掃、整備、または修理時にエンジンを作動させておくと、ソーチェンが偶発的に回転し始めるおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ エンジンを切ります。
 - ▶ チェンブレイキを掛けます。
- 使用後は、マフラーとエンジンが高温になっています。それにより火傷を負うおそれがあります。
 - ▶ マフラーとエンジンが冷えるまで待ちます。
- 刺激の強い洗浄剤、高圧洗浄機、または尖った物体は、チェンソー、ガイドバー、ソーチェンを損傷させるおそれがあります。チェンソー、ガイドバー、ソーチェンを適切に清掃しないと、部品が正常に機能しなくなるが、安全装置が働かなくなることがあります。それにより重傷を負うことがあります。

- ▶ チェンソー、ガイドバー、ソーチェンは本取扱説明書に従って清掃してください。
- チェンソーを本書に従って整備しないと、部品が正常に機能しなくなるが、安全装置が働かなくなるおそれがあります。重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ チェンソーは本取扱説明書に従って整備/修理してください。
- ガイドバーとソーチェンを本取扱説明書に従って整備/修理しないと、部品が正常に作動しなくなるが、安全装置が働かなくなるおそれがあります。それにより重傷を負うことがあります。
 - ▶ ガイドバーとソーチェンの整備や修理時は、本取扱説明書に従ってください。
- ソーチェンの清掃中や整備中に、鋭利なカッターでケガをする場合があります。それにより負傷するおそれがあります。
 - ▶ 耐切創手袋を着用してください。

5 チェンソーの使用準備

5.1 チェンソーの使用準備

作業を開始する前に、以下の手順に従ってください：

- ▶ 以下の部品が安全な状態になっているか確認します：
 - チェンソー、 4.6.1。
 - ガイドバー、 4.6.2。
 - ソーチェン、 4.6.3。
- ▶ チェンソーを清掃します、 15.1。
- ▶ バーとチェンを取り付けます、 6.1.1。
- ▶ ソーチェンを張りります、 6.2。
- ▶ チェンオイルを給油します、 6.3。
- ▶ チェンブレイキを点検します、 10.4。
- ▶ チェンソーに給油します、 8.2。
- ▶ 操作部を点検します、 10.5。
- ▶ チェンの潤滑状態を点検します、 10.6。
- ▶ 上記の作業を行うことができない場合は：チェンソーを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

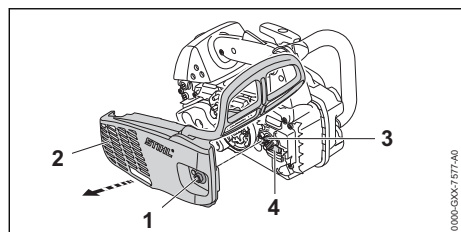
6 チェンソーの組み立て

6.1 バーとチェンの取り付け/取り外し

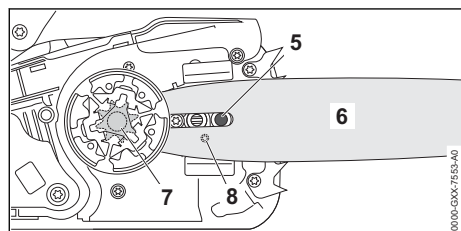
6.1.1 バーとチェンの取り付け

チェンスプロケットと共に使用可能なバーとチェンの組み合わせは、仕様書 20.1に記載されています。

- ▶ エンジンを切り、チェンブレイキを掛けます。

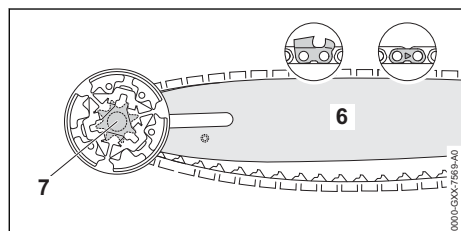


- ▶ チェンスプロケットカバー (2) が取り外し可能な状態になるまでナット (1) を反時計回りに回します。
- ▶ チェンスプロケットカバー (2) を取り外します。
- ▶ テンショナーライド (4) がハウジングの左端に当たるまでテンショニングスクリュー (3) を反時計回りに回します。

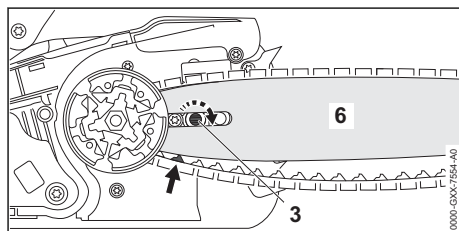


- ▶ ガイドバーをチェンと共にチェンソーに取り付け、以下を確認します：
 - － カラースタッド (5) がガイドバー (6) の後部にあるスロットに入っている。
 - － テンショナーライド (4) のベグがガイドバー (6) の穴 (8) にはまっている。

ガイドバー (6) の向きは、どちらでも構いません。ガイドバー (6) 上の口ゴモも上下が逆になる場合があります。



- ▶ チェンをチェンスプロケット (7) に取り付けます。チェンのドライ布林クをスプロケットの歯にかみ合わせてください。
- ▶ バー上部のタイストラップの矢印が回転方向を向くようにして、チェンをバーの溝に取り付けます。



- ▶ チェンがたるみなしにバーにフィットするまで、テンショニングスクリュー (3) を時計回りに回します。ドライ布林クがバーの溝と合っているか確認します。ガイドバー (6) とチェンがチェンソーに着座します。
- ▶ チェンソーとぴったり重なるようにスプロケットカバー (2) を取り付けます。
- ▶ ナット (1) を取り付け、しっかりと締め付けます。

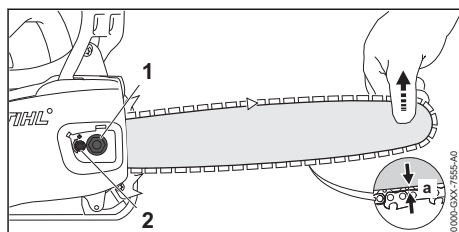
6.1.2 バーとチェンの取り外し

- ▶ エンジンを切り、チェンブレーキを掛けます。
- ▶ チェンスプロケットカバーが取り外し可能な状態になるまでナットを反時計回りに回します。
- ▶ スプロケットカバーを取り外します。
- ▶ テンショニングスクリューを反時計回りに止まるまで回します。
この段階でチェンが緩みます。
- ▶ バーとチェンを取り外します。

6.2 ソーチェンの張り方

ソーチェンは鋸断作業中に伸縮します。その結果、チェンの張り具合が変化します。作業中はチェンの張り具合を定期的に点検し、必要に応じて再調整してください。

- ▶ エンジンを切り、チェンブレーキを掛けます。



- ▶ ナット (1) を緩めます。
- ▶ チェンブレーキを解除します。
- ▶ バーノーズを持ち上げ、以下の状態になるまでテンショニングスクリュー (2) を時計回りに回します：
 - － バー中央のチェンのたるみ 'a' が 1 - 2 mm。
 - － チェンをバーに沿って二本の指で簡単に引くことができる。

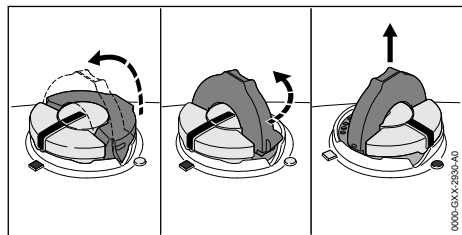
- ▶ バーノーズを持ち上げたままナット (1) をしっかりと締め付けます。
- ▶ バー中央のチェンのたるみ'a'が 1-2 mm でない場合：チェンの張りを再調整します。

6.3 チェンオイルの給油

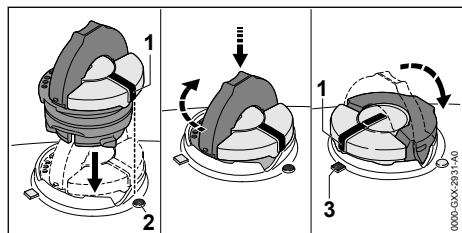
ソーチェンオイルは回転するチェンを潤滑し、冷却します。

STIHL では、STIHL チェンオイルまたはチェンソー用に承認された同等のチェンオイルを使用することをお勧めしています。

- ▶ エンジンを切り、チェンブレーキを掛けます。
- ▶ オイルタンクキャップが上を向くようにチェンソーを平らな面に置きます。
- ▶ 湿らせた布でオイルタンクキャップと周囲部を掃除します。



- ▶ オイルタンクキャップのグリッパを垂直位置まで起こします。
- ▶ オイルタンクキャップを反時計回りに止まるまでまわします。
- ▶ オイルタンクキャップを取り外します。
- ▶ チェンオイルを給油します。オイルをこぼしたり、タンクからあふれさせたりしないよう注意してください。
- ▶ オイルタンクキャップのグリッパが閉位置に下がったときは：グリッパを垂直位置に起こします。

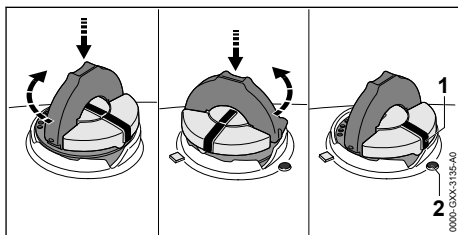


- ▶ オイルタンクキャップを注入口にかぶせ、印 (1) を印 (2) に合わせます。
- ▶ オイルタンクキャップを押し下げ、止まるまで時計回りにまわします。オイルタンクキャップが所定の位置にはまります。印 (1) が印 (3) に合います。
- ▶ オイルタンクキャップを引き上げ、外れるかどうか点検します。

- ▶ 引き上げてもオイルタンクキャップが外れない場合：オイルタンクキャップのグリッパを外します。オイルタンクが密閉されます。

引き上げるとオイルタンクキャップが外れてしまう場合は、以下の手順に従ってください：

- ▶ オイルタンクキャップを注入口に載せます - どの位置でも構いません。



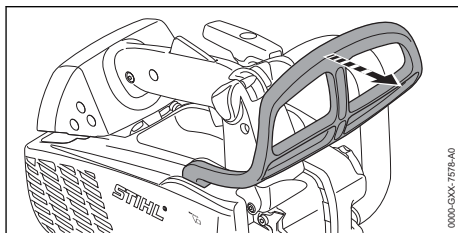
- ▶ オイルタンクキャップを押し下げ、止まるまで時計回りにまわします。
- ▶ オイルタンクキャップを押し下げ、反時計回りにまわし、印 (1) を印 (2) に合わせます。
- ▶ オイルタンクキャップを再び閉めます。
- ▶ オイルタンクが適切に閉まらない場合：チェンソーを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。チェンソーは安全な状態ではありません。

7 チェンブレーキを掛ける/解除する

7.1 チェンブレーキを掛ける

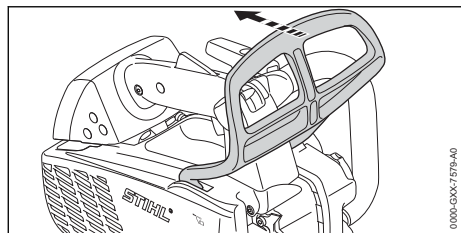
チェンソーには、チェンブレーキが搭載されています。

チェンブレーキは、強いキックバックが起きると前ハンドガードの慣性によって作動します。または、作業者が掛けることができます。



- ▶ ハンドガードを左手でハンドルバーから離れる方向に押します。カチッという音がしてハンドガードがかみ合います。チェンブレーキが掛かります。

7.2 チェンブレイキの解除



- ▶ ハンドガードを左手でハンドルの方向に引きまします。
力チツという音がしてハンドガードがかみ合っています。チェンブレイキが解除されます。

8 燃料の混合とチェンソーへの給油

8.1 燃料の混合

本チェンソーには、ガソリンと 2 ストロークエンジンオイルを 50:1 の比率で混合した混合燃料が必要です。

STIHL 社では STIHL MotoMix(モトミックス) の使用をお勧めしています。

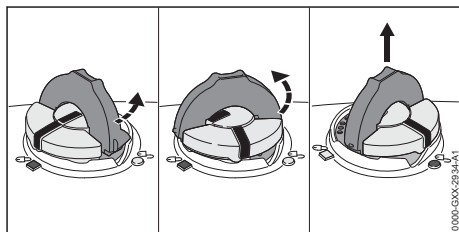
ご自身で燃料を混合する場合は、STIHL 2 ストロークエンジンオイルまたは JASO FB、JASO FC、JASO FD、ISO-L-EGB、ISO-L-EGC あるいは ISO-L-EGD に準拠する他の高性能エンジンオイルを使用してください。

機械が寿命に達するまでの全期間で排ガス基準が満たされるよう、STIHL 社では STIHL HP Ultra(ウルトラ) 2 ストロークエンジンオイルまたは同等の高性能エンジンオイルの使用を指定しています。

- ▶ ガソリンのオクタン価が 90 RON 以上で、エタノール濃度が 10% 以下 (ブラジルでは 27% 以下) のガソリンを使用してください。
- ▶ 使用する 2 ストロークエンジンオイルが要件を満たしているか確認してください。
- ▶ 燃料の必要量に応じて、50:1 の混合比でガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの適正量を割り出します。混合燃料の例：
 - 20 ml の 2 ストロークエンジンオイルと 1 L のガソリン
 - 60 ml の 2 ストロークエンジンオイルと 3 L のガソリン
 - 100 ml の 2 ストロークエンジンオイルと 5 L のガソリン
- ▶ 承認された清潔な燃料容器にまず 2 ストロークエンジンオイルを入れ、次にガソリンを加えます。
- ▶ 燃料を完全に混合してから給油してください。

8.2 チェンソーに燃料を給油する

- ▶ エンジン进行切り、チェンブレイキを掛けまします。
- ▶ チェンソーが冷めるまで待ちまします。
- ▶ 燃料タンクキャップが上を向くようにチェンソーを平らな面に置まします。
- ▶ 湿らせた布で燃料タンクキャップとその周囲を掃除しまします。
- ▶ 燃料タンクキャップのハンドルを起こしまします。



警告

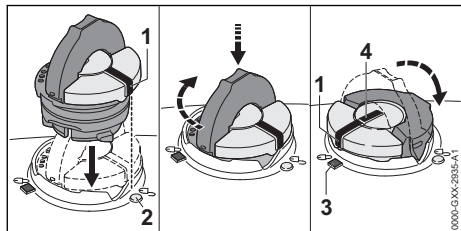
- チェンソーは、使用中や気温が非常に高い環境下では高温になります。燃料の種類、標高、周囲温度、チェンソーの温度によっては、燃料が膨張してタンクの内圧が高まる場合があります。燃料タンクキャップを開けると、霧状の燃料が吹き出し、引火するおそれがあります。使用者が重傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。

- ▶ チェンソーを冷ましてから燃料タンクキャップを開けてください。
- ▶ 燃料タンクキャップは一度の操作で完全に開けるのではなく、ゆっくりと開けてください。

- ▶ 燃料タンクキャップを反時計回りに約 1/8 回転させまします。
燃料タンクの内圧が高まっている場合は、圧力が解放される音が聞こえます。
- ▶ タンクの内圧が解放された後、燃料タンクキャップを反時計回りにまわし、キャップと燃料タンクの印を合わせまします。
- ▶ 燃料タンクキャップを取り外しまします。

注記

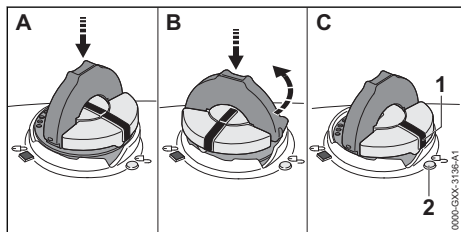
- 照明や直射日光を当てたり、極端な温度にさらしたりすると、燃料の分離や劣化が加速することがあります。混合していない燃料や劣化した燃料を給油すると、チェンソーが損傷するおそれがあります。
 - ▶ 燃料を完全に混合してから給油してください。
 - ▶ 30 日以上 (STIHL MotoMix の場合は 5 年以上) 保管した混合燃料は使用しないでください。
- ▶ 給油時は燃料をこぼさないよう注意し、燃料の液面とタンク上端の間に 15 mm 以上の隙間を確保してください。
- ▶ 燃料タンクキャップのハンドルが閉位置に下がったときは、ハンドルを起こしてください。



- ▶ 燃料タンクキャップを注入口にかぶせ、印 (1) を印 (2) に合わせます。
- ▶ 燃料タンクキャップを押し下げ、止まるまで時計回りにまわします。
燃料タンクキャップが所定の位置にはまります。印 (1) が印 (4) と合い、印 (3) の方を向きます。
- ▶ 燃料タンクキャップを引き上げ、外れるかどうか点検します。
- ▶ 燃料タンクキャップを引き上げても外れない場合は、ハンドルを平らに倒し、キャップの上面と同じ高さにします。
燃料タンクが密閉されます。

燃料タンクキャップを引き上げると外れてしまう場合は、以下の手順に従ってください:

- ▶ 燃料タンクキャップを注入口に載せます。どの位置でも構いません。



- ▶ 燃料タンクキャップを押し下げ、止まるまで時計回りにまわします。
- ▶ キャップを押し下げ、反時計回りにまわし、印 (1) を印 (2) に合わせます。
- ▶ 燃料タンクキャップを再び閉めます。
- ▶ 燃料タンクが依然として適切に閉まらない場合は、チェンソーを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
チェンソーは安全な状態ではありません。

9 エンジンの始動と停止

9.1 適切な始動手順の選択

エンジンに始動準備が必要になる状況は？

以下のいずれかの条件が該当する場合は、エンジンに始動準備を行う必要があります：

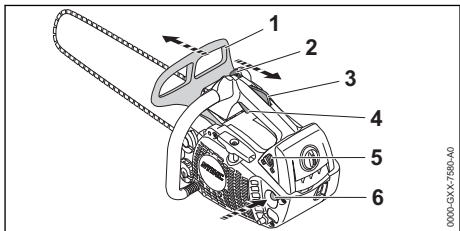
- エンジンが周囲温度の場合。
- 初回加速時にエンジンがストールした。
- 燃料タンクが空になったためエンジンがストールした。
- ▶ エンジンを始動する準備をしてから、 9.2 エンジンを始動します、 9.3。

始動準備なしにエンジンを始動できる状況は？

- 1 分以上運転し、短時間の休憩時のみエンジンを切った場合は、始動準備なしにエンジンを始動できます。
- ▶ エンジンを始動します、 9.3。

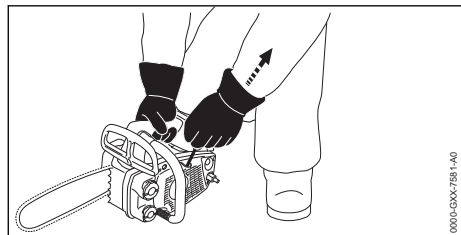
9.2 エンジンの始動準備

- ▶ 適切な始動手順を選択します。



- ▶ チェンブレーキ (1) を掛けます。
- ▶ チェンガード (鞘) を抜き取ります。
- ▶ 手動燃料ポンプ (6) を最低 10 回押します。
- ▶ スロットルトリガーロックアウト (3) を押し下げ、そのまま保持します。
- ▶ スロットルトリガー (4) を引き、そのまま保持します。
- ▶ マスターコントロールレバー (2) を の位置に動かします。
- ▶ スロットルトリガー (4) とトリガーロックアウト (5) を放します。

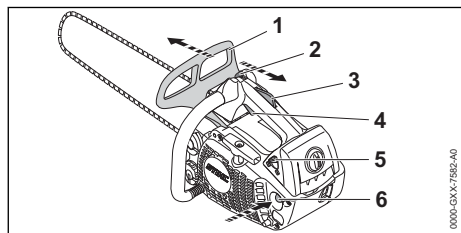
- ▶ チョークレバー (5) をⅡの位置に動かします。



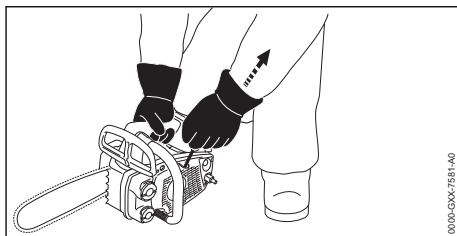
- ▶ チェンソーを平坦な面に置きます。
- ▶ 右手でトップハンドルを握り、チェンソーを保持します - ハンドルに親指をかけてください。
- ▶ チェンソーを右手でしっかりと地面に押し付けます。
- ▶ 右膝でシュラウドを押さえてチェンソーを固定します。
- ▶ かみ合った感じがするまで、左手でスターターグリップをゆっくりと引きます。
- ▶ エンジンが初爆し、停止するまでスターターグリップを素早く引き、スターターロープを巻き込む作業を数回繰り返します。
- ▶ チョークレバー (5) をⅢの位置に動かします。

9.3 エンジンの始動

- ▶ 適切な始動手順を選択します。



- ▶ チェンブレーキ (1) を掛けます。
- ▶ チェンガード (鞘) を抜き取ります。
- ▶ チョークレバー (5) をⅢの位置に動かします。
- ▶ スロットルトリガーロックアウト (3) を押し下げ、そのまま保持します。
- ▶ スロットルトリガー (4) を引き、そのまま保持します。
- ▶ マスターコントロールレバー (2) をⅡの位置に動かします。

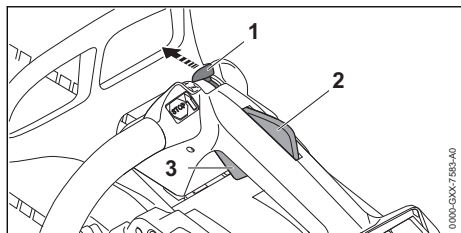


- ▶ チェンソーを平坦な面に置きます。
 - ▶ 右手でトップハンドルを握り、チェンソーを保持します - ハンドルに親指をかけてください。
 - ▶ チェンソーを右手でしっかりと地面に押し付けます。
 - ▶ 右膝でシュラウドを押さえてチェンソーを固定します。
 - ▶ かみ合った感じがするまで、左手でスターターグリップをゆっくりと引きます。
 - ▶ エンジンが始動するまで、スターターグリップを素早く引き、スターターロープを巻き込む作業を数回繰り返します。
 - ▶ スロットルトリガーロックアウト (3) を押し下げ、そのまま保持します。
 - ▶ スロットルトリガー (4) を軽く押します。
- マスターコントロールレバー (2) がⅡの位置に戻ります。エンジンがアイドリング回転数で作動します。

注記

- チェンブレーキが損傷するおそれがあるため、チェンブレーキを掛けたままエンジンを加速させないでください。
 - ▶ チェンブレーキを解除してから鋸断を開始してください。
- ▶ チェンブレーキを解除します。チェンソーの作業準備が整いました。
- ▶ エンジンのアイドリング中にソーチェンが回転する場合：トラブルシューティングを参照してください。アイドリング回転数の調整が不適切です。
- ▶ エンジンが始動しない場合：エンジンの始動準備を行ってから再びエンジンの始動を試みてください。

9.4 エンジン停止

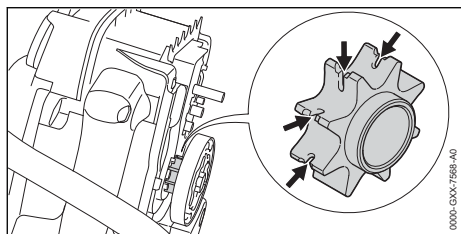


- ▶ スロットルトリガー (3) とトリガーロックアウト (2) を放します。ソーチェンが停止します。
- ▶ マスターコントロールレバー (1) を **Ⅱ** の位置に動かします。エンジンが停止し、マスターコントロールレバー (1) が **I** の位置に戻ります。
- ▶ エンジンが停止しない場合：
 - ▶ チョークレバーを **Ⅱ** の位置に動かします。エンジンが停止します。
 - ▶ チェンソーを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。マスターコントロールレバーが故障しています。

10 チェンソーの点検

10.1 チェンスプロケットの点検

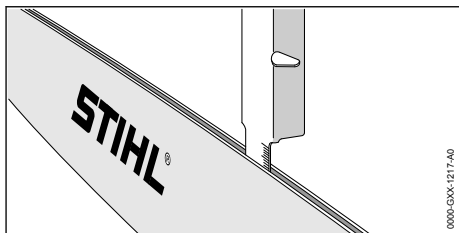
- ▶ エンジンを切ります。
- ▶ チェンブレイキを解除します。
- ▶ チェンスプロケットカバーを取り外します。
- ▶ バーとチェンを取り外します。



- ▶ 摩耗マークが見える場合：チェンソーを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。チェンスプロケットを交換してください。

10.2 ガイドバーの点検

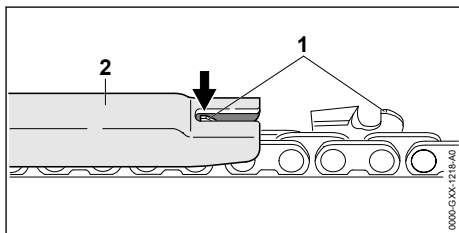
- ▶ エンジンを切り、チェンブレイキを掛けます。
- ▶ ソーチェンとガイドバーを取り外します。



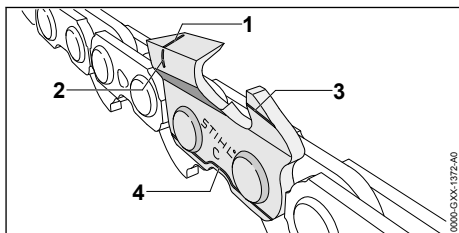
- ▶ STIHL ファイリングゲージの目盛でバーの溝の深さを測定します。
- ▶ 以下のいずれかが生じているときは、新品のガイドバーを取り付けてください：
 - ガイドバーが損傷している。
 - 測定されたバー溝の深さが、規定の最小深さ以下になっている、**Ⅱ** 19.3。
 - バーの溝が狭められているか、広がっている。
- ▶ ご不明な点があれば：STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

10.3 ソーチェンの点検

- ▶ エンジンを切り、チェンブレイキを掛けます。



- ▶ STIHL ファイリングゲージ (2) を使用してデプスゲージ (1) の高さを点検します。STIHL ファイリングゲージは、チェンのピッチと適合していなければなりません。
- ▶ デプスゲージ (1) がファイリングゲージ (2) から突き出る場合：デプスゲージ (1) を低くします、**Ⅱ** 16.3。



- ▶ カッター上のサービスマーク (1 - 4) が目視できるか確認します。

- ▶ カッター上のサービスマークのいずれかが目視できない場合：チェンソーを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
- ▶ STIHL ファイリングゲージを使用し、全カッターで 30°の目立て角度が維持されているか点検します。STIHL ファイリングゲージは、チェンのピッチと適合していなければなりません。
- ▶ 30°の目立て角度が維持されていない場合：ソーチェンを再び目立てしてください。
- ▶ ご不明な点があれば：STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

10.4 チェンブレイキのテスト

- ▶ エンジンを切り、チェンブレイキを掛けます。



警告



- チェンのカッター部分は非常に鋭利です。切傷を負う危険性があります。
 - ▶ 丈夫な素材の手袋を着用してください。
- ▶ ガイドバーに沿ってチェンを手で引きます。バーに沿ってチェンを手で引けない場合は、チェンブレイキは働いています。
- ▶ バーに沿ってチェンを手で引ける場合：チェンソーを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。チェンブレイキに不具合が生じています。


10.5 操作部の点検

スロットルトリガーロックアウトおよびスロットルトリガー

- ▶ エンジンを切り、チェンブレイキを掛けます。
- ▶ ロックアウトレバーを押さずにトリガーを引いてみます。
- ▶ トリガーを引くことができる場合：チェンソーを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。スロットルトリガーロックアウトが故障しています。
- ▶ スロットルトリガーロックアウトを押し下げ、そのまま保持します。
- ▶ スロットルトリガーを引き、放します。
- ▶ スロットルトリガーが円滑に動かないか、アイドル位置に戻らない場合：チェンソーを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。スロットルトリガーが故障しています。

エンジン停止

- ▶ エンジンを始動します。
- ▶ マスターコントロールレバー (1) を  の位置に動かします。エンジンが停止し、マスターコントロールレバーが  の位置に戻ります。

- ▶ エンジンが停止しない場合：
 - ▶ チョークレバーを  の位置に動かします。エンジンが停止します。
 - ▶ チェンソーを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。マスターコントロールレバーが故障しています。

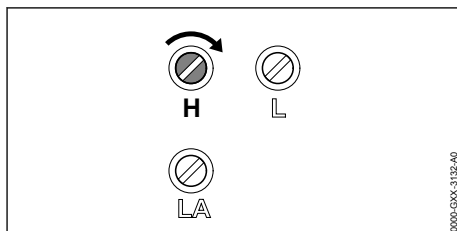
10.6 チェンオイルの潤滑状態点検

- ▶ エンジンを始動し、チェンブレイキを解除します。
- ▶ ガイドバーを明るい面にかざします。
- ▶ スロットルを開きます。チェンからチェンオイルが飛び散り、明るい面上で確認できます。チェンの潤滑機能は正常に働いています。
- ▶ チェンオイルが確認できない場合：
 - ▶ エンジンを切ります。
 - ▶ チェンオイルを給油します。
 - ▶ チェンの潤滑状態を再点検します。
 - ▶ 明るい面でチェンオイルが依然として確認できない場合：チェンソーを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。チェンの潤滑機能に不具合が生じています。

11 チェンソーの操作

11.1 高地で作業する場合用のキャブレター調整

- チェンソーを高地で使用すると、エンジンから本来の出力が発揮されません。エンジン出力が最適化されるよう、キャブレターの設定を調整してください。
- ▶ エンジンを始動し、チェンブレイキを解除します。
 - ▶ スロットルを約 1 分間開閉させ、エンジンを暖機します。



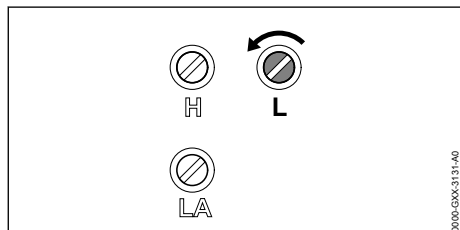
0000-GHX-3192-A0

注記

- チェンソーを再び低地で使用する場合は、エンジンがオーバーヒートするおそれがあります。
 - ▶ 標準設定を行います。
- ▶ エンジン出力が最適化されるまで高速調整スクリュー H を時計回りに回します。

11.2 -10°C 以下の温度で作業する場合のキャブレター調整

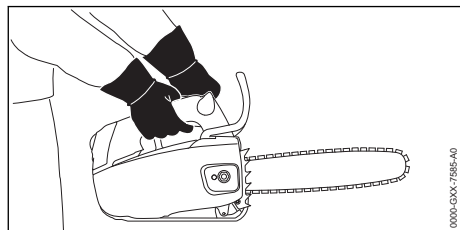
- チェンソーを -10°C 以下の温度下で使用すると、エンジンの加速が不適切になります。そうした状況下でエンジンの加速が正常になるよう、キャブレターを調整してください。
- ▶ エンジンを始動し、チェンブレイキを解除します。
 - ▶ スロットルを約 1 分間開閉させ、エンジンを暖機します。



注記

- その後、チェンソーを -10°C を超える場所で使用すると、エンジン出力が大幅に低下することがあります。
 - ▶ 標準設定を行います。
- ▶ 低速調整スクリュー (L) を反時計回りに 1/4 回転まわします。
- ▶ ソーチェンが回転し続けるか、エンジンがストールする場合：アイドリング回転数を調整します。

11.3 チェンソーの保持と操作



- ▶ 左手でハンドルバーを握り、右手でトップハンドルを握り、チェンソーを保持し、制御します。

す。左手の親指をハンドルバーにかけ、右手の親指をトップハンドルにかけてください。



警告

- チェンソーを片手で操作すると、キックバックが生じる危険が高まります。キックバックが生じると、チェンソーが作業者の方向に跳ね上がる場合があります。チェンソーの制御を失い、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ バーの先端上部 1/4 部分を使用しないでください。
 - ▶ 切断対象の枝には絶対にもたれかからないでください。
 - ▶ 落下する枝は絶対につかまないのでください。

以下の場合にやむを得ずチェンソーを片手で操作することがあります：

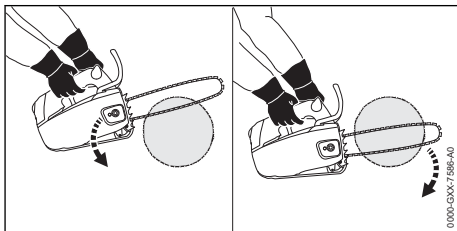
- 両手で操作できないとき。
- 切断中に片手で切断物を支える必要があるとき。
- チェンソーを片手で確実に保持できるとき。
- 身体の中の部分もカッティングアタッチメントに触れるおそれがないとき。

11.4 切断作業



警告

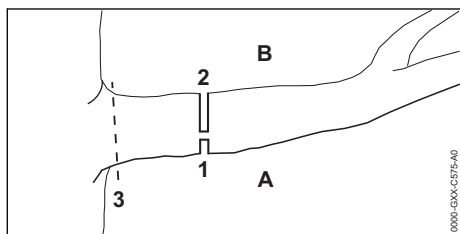
- キックバックが生じると、チェンソーが作業者の方向に跳ね上がる場合があります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 常にチェンを最高速で作動させて鋸断してください。
 - ▶ バーの先端上部 1/4 部分を使用しないでください。
- ▶ チェンを最高速で作動させ、ガイドバーを垂直にして切断を開始します。



- ▶ バンパースパイクを当て、それを支点として利用します。
- ▶ バーの全幅を木材内へ導き、必要に応じてバンパースパイクをずらします。
- ▶ 鋸断の最後の部分では、チェンソーの重量を支えてください。

11.5 枝払い

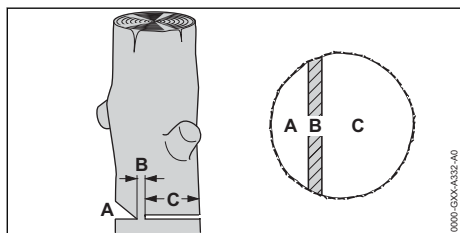
- ▶ チェンを最高速で作動させ、枝に接触させながらガイドバーを下方向に回します。



- ▶ 最初に圧縮側 (A) でリリースカット (1) を行い、次に最初のカットの真上で上から引張側 (B) でバックキング (2) カットを実行します。
- ▶ 樹皮に損傷を与えることなく、トランクの近くで最後のカット (3) を行います。

11.6 樹木の伐倒

11.6.1 伐倒の基本情報



A 受け口

受け口によって伐倒方向が決まります。

B つる

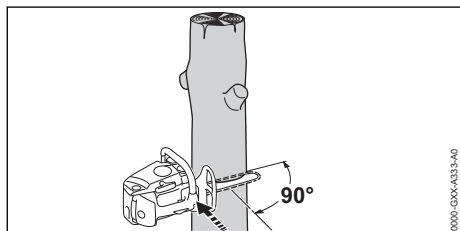
つるは、地面に倒れる際に樹木の一部をコントロールします。つるの幅は、幹の直径の 1/10 です。

C 追い口

樹木は追い口を用いて伐倒します。

11.6.2 受け口切り

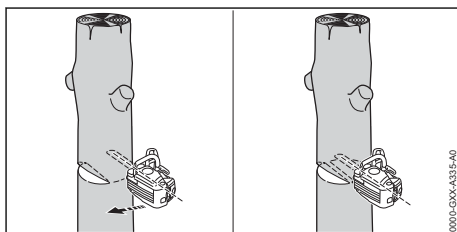
受け口によって伐倒方向が決まります。受け口の作成に関する国別基準を遵守してください。



- ▶ 受け口が伐倒方向に対して直角になるようチェンソーの位置を合わせます。

- ▶ 水平に切り込みを入れます。
- ▶ 水平切断面まで 45° の角度で切断します。

11.6.3 追い口切り



- ▶ つるを切断しないよう注意しながら、水平に追い口を作ります。
- ▶ 大声で周囲に警告します。
- ▶ つるを支点にして、伐倒する樹木の部分を押しします。
- ▶ 伐倒する部分が倒れます。

12 作業後

12.1 作業後

- ▶ エンジンを切り、チェンブレイキを掛けます。
- ▶ チェンソーが冷めるまで待ちます。
- ▶ チェンソーが濡れている場合：チェンソーを乾かします。
- ▶ チェンソーを掃除します。
- ▶ エアフィルターを掃除します。
- ▶ バーとチェンを掃除します。
- ▶ チェンスプロケットカバーのナットを緩めます。
- ▶ テンショニングスクリューを反時計回りに 2 回転まわします。
- ▶ この段階でチェンが緩みます。
- ▶ チェンスプロケットカバーのナットを締め付けます。
- ▶ ガイドバーを完全に覆うようにチェンガードを取り付けます。

13 運搬

13.1 チェンソーの運搬

- ▶ エンジンを停止して、チェンブレイキを掛けます。
- ▶ チェンガードをガイドバー上にスライドさせ、ガイドバー全体を覆うようにします。

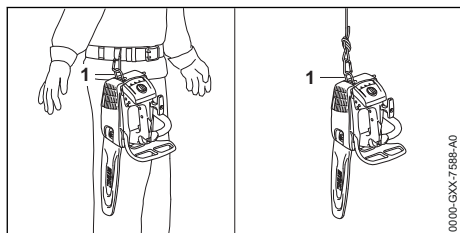
チェンソーの運搬 (持ち運び)

- ▶ チェンソーは、左手でコントロールハンドルを持ち、ガイドバーを後ろに向けて運搬してください。

チェンソーの車両での運搬

- ▶ チェンソーを固定して、チェンソーが倒れたり動いたりすることがないようにしてください。

チェーンソーのアイレットを使用した運搬



- ▶ チェンソーは、ハーネスのアイレット (1) を使用して運搬するか、ロープに取り付けて運搬してください。

14 保管

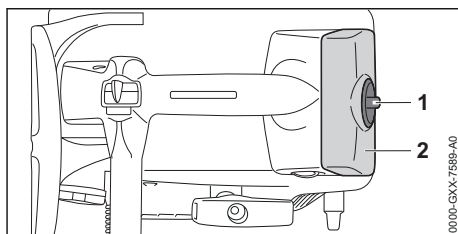
14.1 チェンソーの保管

- ▶ エンジンを停止して、チェンブレイキを掛けます。
- ▶ チェンガードをガイドバー上にスライドさせ、ガイドバー全体を覆うようにします。
- ▶ チェンソーは以下の条件が満たされるように保管してください：
 - チェンソーが倒れたり動いたりしないようにすること。
 - チェンソーが子供の手の届かないところにあること。
 - チェンソーが清潔かつ乾燥した状態にあること。
- ▶ チェンソーを 30 日以上保管する場合：
 - ▶ ガイドバーとソーチェンを取り外します。
 - ▶ 燃料タンクキャップを開けます。
 - ▶ 燃料タンクを空にします。
 - ▶ 燃料タンクキャップを閉めます。
 - ▶ 手動燃料ポンプが装着されている場合：手動燃料ポンプを最低 5 回押します。
 - ▶ エンジンを始動し、エンジンが停止するまでアイドリングを続けます。

15 清掃

15.1 チェンソーの清掃

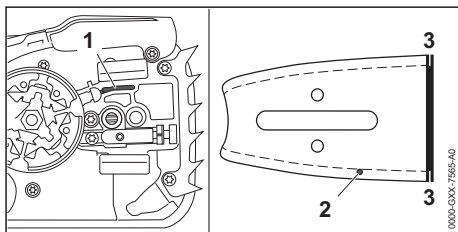
- ▶ エンジンを切り、チェンブレイキを掛けます。
- ▶ チェンソーが冷めるまで待ちます。
- ▶ チェンソーを湿らせた布または STIHL 樹脂溶剤で拭きます。
- ▶ 冷却風吸入部を柔らかいブラシで掃除します。



- ▶ シユラウドロック (1) を反時計回りに 1/2 回転まわします。
- ▶ シユラウド (2) を取り外します。
- ▶ チェンスプロケットカバーを取り外します。
- ▶ 柔らかいブラシ、湿らせた布または STIHL 樹脂溶剤を使用してシユラウドの内側を掃除します。
- ▶ スプロケット周辺部を湿らせた布または STIHL 樹脂溶剤で掃除します。
- ▶ シユラウド (2) を位置決めします。
- ▶ カチッという音が聞こえるまでシユラウドロック (1) を時計回りに回します。シユラウドロック (1) が固定されます。
- ▶ チェンスプロケットカバーを取り付けます。

15.2 バーとチェンの清掃

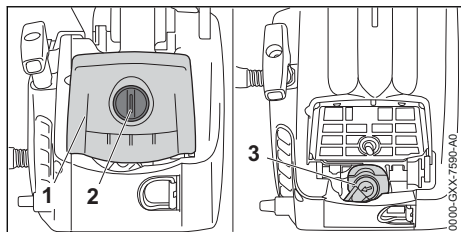
- ▶ エンジンを切り、チェンブレイキを掛けます。
- ▶ バーとチェンを取り外します。



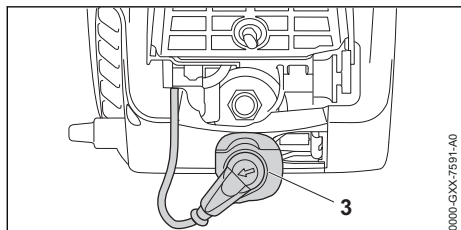
- ▶ オイルインレット孔 (1)、オイルポート (2)、バーの溝 (3) を柔らかいブラシまたは STIHL 樹脂溶剤で清掃します。
- ▶ ソーチェンを柔らかいブラシまたは STIHL 樹脂溶剤で掃除します。
- ▶ バーとチェンを取り付けます。

15.3 スパークプラグの清掃

- ▶ エンジンを切り、チェンブレイキを掛けます。
- ▶ チェンソーが冷めるまで待ちます。



- ▶ カバーロック (2) を反時計回りに 1/2 回転回します。
- ▶ カバー (1) を取り外します。
- ▶ スパークプラグターミナル (3) を引き抜きます。
- ▶ スパークプラグ周辺が汚れている場合：布で拭いてください。
- ▶ スパークプラグを取り外します。
- ▶ スパークプラグを布で拭きます。
- ▶ スパークプラグが腐食している場合：スパークプラグを交換してください。

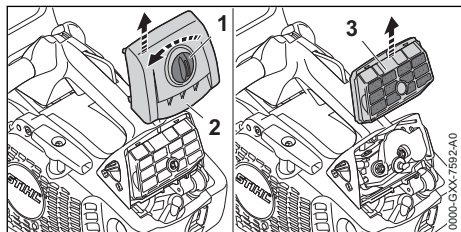


- ▶ スパークプラグを差し込み、確実に締め付けます。
- ▶ スパークプラグターミナル (3) を奥まで確実に押し込みます。
- ▶ カバー (1) を取り付けます。
- ▶ カチッという音が聞こえるまでシュラウドロック (2) を時計回りにまわします。
カバーロック (2) はしっかり固定されています。

15.4 エアフィルターの掃除

15.4.1 ファブリックエアフィルターの掃除

- ▶ エンジンを切り、チェンブレイキを掛けます。



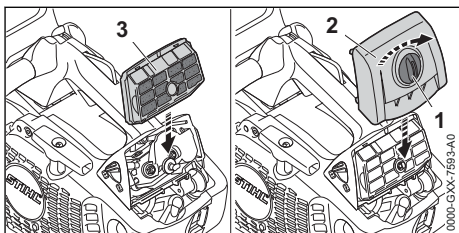
- ▶ シュラウドロック (1) を反時計回りに 1/2 回転まわします。

- ▶ シュラウド (2) を取り外します。
- ▶ エアフィルター (3) を取り外します。
- ▶ フィルター (3) を手で叩いて汚れを落とします。
- ▶ フィルター (3) を柔らかいブラシで掃除します。
- ▶ フィルター (3) が損傷している場合：新品のフィルター (3) を取り付けます。
- ▶ 洗浄空気側から圧縮空気を吹き付け、フィルター (3) の汚れを取り除きます。

警告

- 洗浄剤が皮膚に付着したり、目に入ったりすると、炎症を引き起こすおそれがあります。
 - ▶ 洗浄剤に同梱されている取扱説明書に従ってください。
 - ▶ 洗浄剤には触れないでください。
 - ▶ 皮膚に付着したときは：付着した部分を大量の水と石鹸で洗い流してください。
 - ▶ 液が目に入ったときは：大量の水で 15 分以上洗眼し、医師の診察を受けてください。

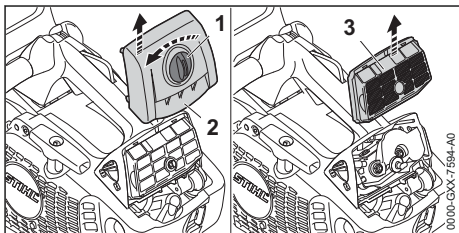
- ▶ エアフィルターの汚れが激しい場合：
- ▶ フィルター (3) を STIHL 特殊洗浄剤または低温の石鹼水で洗浄します。
- ▶ 洗浄空気側から流水でフィルター (3) をすすぎます。
- ▶ フィルター (3) を自然乾燥させます。



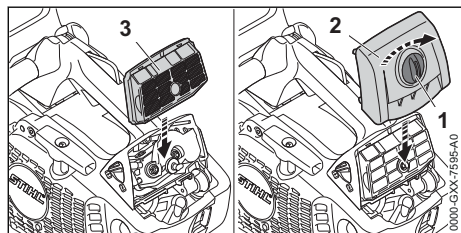
- ▶ フィルター (3) を取り付けます。
- ▶ シュラウド (2) を位置決めします。
- ▶ カチッという音が聞こえるまでシュラウドロック (1) を時計回りに回します。
シュラウドロック (1) が固定されます。

15.4.2 フリースエアフィルターの掃除

- ▶ エンジンを切り、チェンブレイキを掛けます。



- ▶ シュラウドロック (1) を反時計回りに 1/2 回転まわします。
- ▶ シュラウド (2) を取り外します。
- ▶ エアフィルター (3) を取り外します。
- ▶ フィルター (3) を手で叩いて汚れを落とします。
- ▶ フィルター (3) が損傷している場合：新品のフィルター (3) を取り付けます。
- ▶ 洗浄空気側から圧縮空気を吹き付け、フィルターの汚れを取り除きます。



- ▶ フィルター (3) を取り付けます。
- ▶ シュラウド (2) を位置決めします。
- ▶ カチッという音が聞こえるまでシュラウドロック (1) を時計回りに回します。
- ▶ シュラウドロック (1) が固定されます。

16 整備

16.1 整備間隔

整備間隔は、周囲条件と作業条件によって変化します。STIHL 社では次の間隔による整備をお勧めしています：

チェンブレイキ

- ▶ チェンブレイキは、以下の間隔で STIHL サービス店に整備を依頼してください：
 - 頻繁な使用時：3 ヶ月毎
 - 時々の使用時：6 ヶ月毎
 - たまに使用する場合：毎年

100 運転時間毎

- ▶ スパークプラグを交換します。

毎週

- ▶ チェンスプロケットを点検します。
- ▶ ガイドバーの点検とバリ取りを行います。
- ▶ ソーチェーンの点検と目立てを行います。

毎月

- ▶ STIHL サービス店にオイルタンクの清掃を依頼してください。
- ▶ STIHL サービス店に燃料タンクの清掃を依頼してください。
- ▶ STIHL サービス店に燃料タンクのピックアップボディの清掃を依頼してください。

毎年

- ▶ STIHL サービス店に燃料タンクのピックアップボディの交換を依頼してください。

16.2 ガイドバーのバリ取り

ガイドバーの外端部にはバリが生じることがあります。

- ▶ バリは平ヤスリまたは STIHL ガイドバードレッシングツールを使用して取り除いてください。
- ▶ ご不明な点があれば：最寄りの STIHL サービス店に連絡してください。

16.3 ソーチェーンの目立て

ソーチェーンを適切に目立てするには、練習を重ねる必要があります。

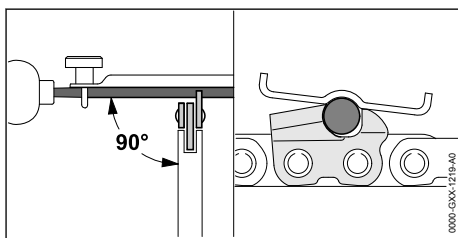
STIHL ヤスリ、STIHL 目立て補助具、STIHL 目立て機、「STIHL ソーチェーンの目立て」冊子は、良い結果を生むのに役立ちます。冊子は、右記のサイトから入手できます： <http://www.stihl.com/sharpening-brochure>

STIHL 社では、ソーチェーンの目立てを STIHL サービス店に依頼されることをお勧めしています。

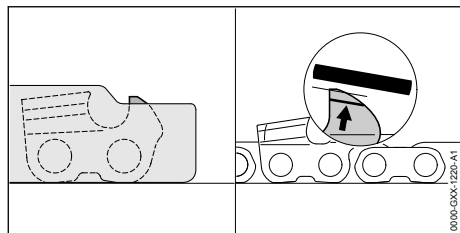


警告

- チェンのカッター部分は非常に鋭利です。切傷を負う危険性があります。
 - ▶ 丈夫な素材の手袋を着用してください。



- ▶ 以下の点を遵守しながら各カッターに丸ヤスリをかけます：
 - 丸ヤスリがチェーンのピッチと適合しているか確認します。
 - カッターの内側から外側に向かってヤスリをかけます。
 - ヤスリをガイドバーに対して直角になるように保持します。
 - 30°の目立て角度を維持します。



- ▶ STIHL ファイリングゲージと同一高になり、サービスマークと平行になるようデプスゲージを平ヤスリで削ります。STIHL ファイリング

ゲージは、チェーンのピッチと適合していなければなりません。

- ▶ ご不明な点があれば:STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

17 修理

17.1 チェンソー、ガイドバー、ソーチェーンの修理

ユーザーはチェーン、ガイドバー、ソーチェーンを修理できません。

- ▶ チェンソー、ガイドバー、ソーチェーンが損傷した場合:チェーンソー、ガイドバー、ソーチェーンを使用しないでください。STIHL サービス店に連絡してください。

18 トラブルシューティング

18.1 チェンソーのトラブルシューティング

大半の不具合は、同じ原因で引き起こされます。

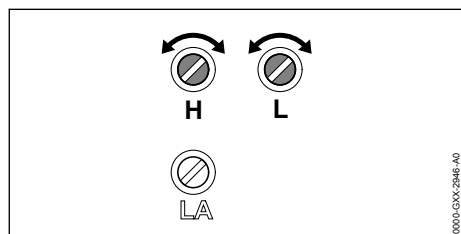
- ▶ 以下の作業を行います:
 - ▶ エアフィルターの掃除します。
 - ▶ スパークプラグを掃除するか、交換します。
 - ▶ 標準設定を行います。
 - ▶ アイドリング回転数を調整します。
 - ▶ キャブレターを高地作業用に調整します。
 - ▶ キャブレターを -10°C 以下の温度下における作業用に調整します。
- ▶ 引き続き不具合が解消されない場合:下表に記載されている作業を行ってください。

状態	原因	処置
エンジンが始動しない。	燃料タンク内の燃料が不足している。	▶ 燃料を混合し、チェーンソーに給油します。
	エンジンが燃料を吸い込みすぎている。	▶ 燃焼室を換気します。
	キャブレターが過熱している。	▶ チェンソーが冷めるまで待ちます。 ▶ 手動燃料ポンプが装着されている場合:手動燃料ポンプを 10 回以上押してから始動します。
	キャブレターが凍結している。	▶ チェンソーを $+10^{\circ}\text{C}$ まで暖機します。
エンジンのアイドリングが不安定。	キャブレターが凍結している。	▶ チェンソーを $+10^{\circ}\text{C}$ まで暖機します。
アイドリング中にエンジンがストールする	キャブレターが凍結している。	▶ チェンソーを $+10^{\circ}\text{C}$ まで暖機します。
加速不良	チェーンが張り過ぎている。	▶ チェンを適切に張ります。
	チェーン潤滑システムがチェーンオイルを十分に供給していない。	▶ チェンソーを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
スロットルを開いても、ソーチェーンが回転しない。	チェーンブレイキが掛かっている。	▶ チェンブレイキを解除します。
	チェーンが張り過ぎている。	▶ チェンを適切に張ります。
	バーノーズスプロケットが詰まっている。	▶ バーノーズスプロケットを STIHL 樹脂溶剤で掃除します。

状態	原因	処置
鋸断中に煙が発生するか、焦げる臭いがする。	チェーンが適切に目立てされていない。	▶ チェンを適切に目立てします。
	タンク内のチェーンオイルが不足している。	▶ チェンオイルを給油します。
	チェーン潤滑システムがチェーンオイルを十分に供給していない。	▶ チェンソーを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
	チェーンが張り過ぎている。	▶ チェンを適切に張ります。
	チェンソーを適切に使用していない。	▶ 適切な使用方法の説明を受け、練習を積んでください。

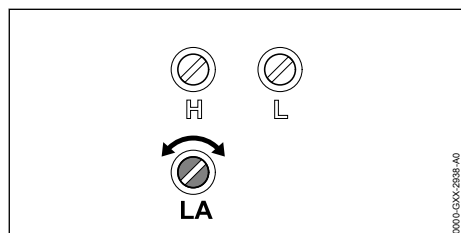
18.2 標準設定

- ▶ エンジンを切り、チェンブレーキを掛けます。



- ▶ 高速調整スクリュー (H) を反時計回りに止まるまで回します。
- ▶ 低速調整スクリュー (L) を時計回りに止まるまで回します。
- ▶ 低速調整スクリュー (L) を反時計回りに 1/4 回転まわします。

18.3 アイドリング回転の調整



アイドリング回転中にエンジンがストールする

- ▶ 標準設定を行う。
- ▶ エンジンを始動し、チェンブレーキを解除します。
- ▶ スロットルを約 1 分間開閉させ、エンジンを暖機します。
- ▶ アイドリング中にエンジンが引き続きストールする場合：アイドルスピードスクリュー (LA) を時計回りに半回転させ、エンジンを再始動します。

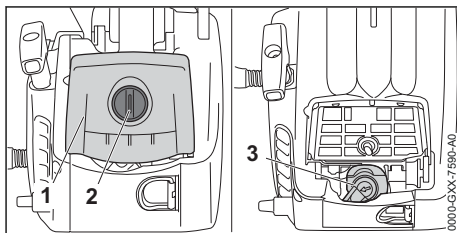
- ▶ チェンが回転し始めるまでアイドルリングスピード調整スクリュー (LA) を時計回りに回します。
- ▶ 低速調整スクリュー (LA) を反時計回りに 1 回転回します。

エンジンのアイドルリング中にソーチェンが回転し続ける

- ▶ 標準設定を行う。
- ▶ エンジンを始動し、チェンブレーキを解除します。
- ▶ スロットルを約 1 分間開閉させ、エンジンを暖機します。
- ▶ ソーチェンが回転しなくなるまでアイドルリングスピード調整スクリュー (LA) を反時計回りに回します。
- ▶ 低速調整スクリュー (LA) を反時計回りに 1 回転回します。

18.4 燃焼室の換気

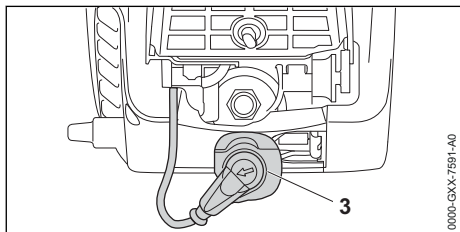
- ▶ チェンブレーキを掛けます。



- ▶ シュラウドロック (2) を反時計回りに 1/2 回転まわします。
- ▶ シュラウド (1) を取り外します。
- ▶ スパークプラグターミナル (3) を引き抜きます。
- ▶ スパークプラグを取り外します。
- ▶ スパークプラグを乾かします。

**警告**

- スパークプラグターミナルを取り外してスターターグリップを引くと、エンジン外部で火花が発生することがあります。引火または爆発が起きやすい環境下では、火花によって火災や爆発が生じるおそれがあります。それにより重傷または致命傷や物的損害につながるおそれがあります。
 - ▶ マスターコントロールレバーをCの位置に動かし、保持したままスターターグリップを引いてください。
- ▶ マスターコントロールレバーをDの位置に移動し、そのまま保持します。
- ▶ スターターグリップを引き、手を添えて戻す作業を数回繰り返します。燃焼室が換気されます。
- ▶ スパークプラグを差し込み、締め付けます。



- ▶ スパークプラグターミナル (3) をしっかりと押し込みます。
- ▶ シュラウド (1) を位置決めします。
- ▶ カチッという音が聞こえるまでシュラウドロック (2) を時計回りに回します。シュラウドロック (2) が固定されます。

19 技術仕様

19.1 STIHL MS 194 T チェンソー

- 排気量：31.8 cm³
- ISO 7293 に準拠したエンジン出力：1.4 kW (1.9 HP)
- ISO 11681 に準拠したアイドリング回転数：3,000 ± 50 rpm
- 承認されているスパークプラグ：NGK CMR6H (STIHL 供給)
- 電極ギャップ：0.5 mm
- ガイドバーとチェンなしの乾燥重量 3.3 kg
- 燃料タンク容量：270 cc (0.27 l)
- オイルタンク容量：220 cc (0.22 l)

19.2 チェンスプロケットとチェンスピード

- 以下のチェンスプロケットを使用できます：
- 6 枚歯、3/8" P 用

- ISO 11681 に準拠した最大チェンスピード：26.0 m/s
- 最大出力時のチェンスピード：18.6 m/s
- 8 枚歯、1/4" P 用
- ISO 11681 に準拠した最大チェンスピード：23.6 m/s
- 最大出力時のチェンスピード：16.9 m/s

19.3 ガイドバー溝の最小深さ

溝の最小深さは、ガイドバーのピッチによって異なります。

- 3/8" P：5 mm
- 1/4" P：4 mm

19.4 騒音値および振動値

- ISO 22868 に準拠して測定した音圧レベル L_{peq} ：100 dB(A)。音圧レベルの特性値は 2 dB(A) です。
- ISO 22868 に準拠して測定した音響パワーレベル $L_{w eq}$ ：110 dB(A)。音響パワーレベルの特性値は 2 dB(A) です。
- ISO 22867 に準拠して測定した振動値 $a_{hv, eq}$ ：
 - ハンドルバー：3.6 m/s²。振動値の特性値は 2 m/s² です。
 - コントロールハンドル：3.6 m/s²。振動値の特性値は 2 m/s² です。

振動に関する指令 2002/44/EC の遵守に関する情報は、www.stihl.com/vib に記載されています。

19.5 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation) 規制を意味します。

REACH 規定の遵守に関する詳細については、www.stihl.com/reach をご覧ください。

19.6 排気ガス

欧州連合の型式承認手続きで測定された CO₂ 値は、製品別技術データで www.stihl.com/co2 に明記されています。

CO₂ 測定値は、代表的なエンジンを実験室で標準的な試験手順に従って測定した結果であり、特定のエンジンの性能を明示的、暗示的に保証する数値ではありません。

適用される排気ガス規制の要件は、本書に記載されている方法で機械を使用し、整備することによって満たされます。型式認定は、エンジンを改造すると無効になります。

20 バーとチェーンの組み合わせ

20.1 チェンソー STIHL MS 194 T

ピッチ	ドライブリンク厚/溝幅	長さ	ガイドバー	ノーズスプロケット歯数	ドライブリンク数	ソーチェーン
3/8" P	1.1 mm	25 cm	Rollomatic E light	7	39	61 PMM3 (3610)
		30 cm	Rollomatic E, Rollomatic E light		44	
		35 cm	Rollomatic E, Rollomatic E light		44	
		40 cm	Rollomatic E		50	
		30 cm	Rollomatic E / Light 04	9	50	61 PMM3 (3610) 61 PS3 Pro (3699)
	1.3 mm	35 cm			55	
		40 cm			44	
		30 cm	Rollomatic E, Rollomatic E light	9	50	63 PD3 (3612) 63 PM3 (3636) 63 PS3 (3616)
		35 cm			55	
		40 cm			55	
1/4" P	1.1 mm	25 cm	Rollomatic E	8	56	71 PM3 (3670)
		30 cm			64	
		35 cm			72	
		30 cm	Carving E	-	64	

ガイドバーの切断長は、使用するチェンソーやソーチェーンによって異なります。ガイドバーの実際の切断長は、指定された長さよりも短い場合があります。

21 スペアパーツおよびアクセサリ

21.1 スペアパーツおよびアクセサリ

STIHL これらの記号は、STIHL 純正のスペアパーツと STIHL 純正のアクセサリに付けられています。

STIHL 社では、STIHL 純正の交換部品とアクセサリの使用をお勧めしています。

STIHL 社は市場に出回っている商品を継続的に調査しておりますが、他社製スペアパーツとアクセサリの信頼性、安全性、適性を判断することはできません。そのため、STIHL 社はそうした部品の使用を許可しておりません。

STIHL 純正の交換部品と STIHL 純正のアクセサリは、STIHL サービス店から入手することができます。

22 廃棄

22.1 チェンソーの廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。

- ▶ 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ▶ 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

23 EC 適合証明書

23.1 チェンソー STIHL MS 194 T

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

Badstraße 115

D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、単独の責任において下記の製品が

- モデル：チェンソー
- 製造ブランド：STIHL
- タイプ：MS 194 T
- シリアル番号：1137
- 排気量：31.8 cm³

指令 2011/65/EU、2006/42/EC、2014/30/EU、2000/14/EC の関連する条項に適合しており、以下の規格のそれぞれ製造時点で有効であった版に準拠して開発および製造されたことを保証いたします：EN ISO 11681-1、EN 55012、EN 61000-6-1。

指令 2006/42/EC 第 12 条第 3 項(b)に準拠した
EC 型式試験の実施機関：DPLF, Deutsche Prüf-
und Zertifizierungsstelle für Land- und
Forsttechnik GbR (NB 0363),
Spremlinger Straße 1, 64823 Groß-Umstadt,
Germany

－ 認証番号：K-EG 2018/8641

音響パワーレベルは、測定値並びに保証値共に、
指令 2000/14/EC の付属書 V の規定、および ISO
9207 基準に従って決定されています。

－ 音響パワーレベル測定値：112 dB(A)

－ 音響パワーレベル保証値：114 dB(A)

技術資料は ANDREAS STIHL AG & Co. KG の製
品認証部に保管されています。

製造年と機械番号は、チェンソーに表示されてい
ます。

2022 年 8 月 1 日、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人 

Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs
& Global Governmental Relations

24 UKCA 適合宣言

24.1 チェンソー STIHL MS 194 T

**UK
CA**

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

Badstraße 115

D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、単独の責任において下記の製品が

－ モデル：チェンソー

－ 製造ブランド：STIHL

－ タイプ：MS 194 T

－ シリアル番号：1137

－ 排気量：31.8 cm³

英国規則 The Restriction of the Use of Certain
Hazardous Substances in Electrical and
Electronic Equipment Regulations 2012, Supply
of Machinery (Safety) Regulations 2008,
Electromagnetic Compatibility Regulations 2016
および Noise Emission in the Environment by
Equipment for use Outdoors Regulations 2001
の関連する条項に適合しており、以下の規格のそ
れぞれ製造時点でも有効であった版に準拠して開

発および製造されたことを保証いたします：
EN ISO 11681-1、EN 55012、EN 61000-6-1。

型式試験の実施機関：Intertek Testing &
Certification Ltd, Academy Place, 1 – 9 Brook
Street, Brentwood Essex, CM14 5NQ, United
Kingdom

－ 認証番号：UK-MCR-0023

音響パワーレベルは、測定値並びに保証値共に、
英国規則 Noise Emission in the Environment by
Equipment for use Outdoors Regulations 2001、
の付属書 8 の規定、および ISO 9207 基準に従っ
て決定されています。

－ 音響パワーレベル測定値：112 dB(A)

－ 音響パワーレベル保証値：114 dB(A)

技術資料は ANDREAS STIHL AG & Co. KG に保
管されています。

製造年と機械番号は、チェンソーに表示されてい
ます。

2022 年 8 月 1 日、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人 

Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs
& Global Governmental Relations

25 アドレス

www.stihl.com

www.stihl.com



0458-568-4321-B



0458-568-4321-B